

日本小児科学会子どもの死亡登録・検証委員会

厚労科研「小児死亡事例に関する登録・検証システムの確立に向けた実現可能性の検証に関する研究」共催

第2回小児死亡時対応講習会開催報告

開催日時：2019年1月14日（月）10：25～17：30

開催場所：CIVI 北梅田研修センター 大阪府大阪市北区芝田 2-7-18

参加費：5,000円

参加者数：73名

昨年度、好評を得た小児死亡時対応講習会を今回は大阪で開催した。内容は昨年度のアンケート結果を踏まえて修正を行い、「死因究明」・「グリーフケア」について学び、最終的に Child Death Review を各地域・各病院で行えるような内容を提供した。プログラム内容は以下の通りである。

【プログラム】

1. 我が国の小児死亡の現状 前橋赤十字病院 溝口史剛
2. 死亡時の身体所見と検査 中国労災病院 小西央郎
3. 死亡に際しての家族対応 函館中央病院 石倉亜矢子
4. 死亡診断書の記載方法・司法との連携 東京大学・千葉大学法医学 千葉文子
5. グリーフケア 四国こどもとおとなの医療センター 木下あゆみ
6. 子どもの死亡登録検証について 名古屋大学医学部附属病院 沼口 敦

今回の講習会も、座学だけでなく、ディスカッションや実習を行った。最後の「子どもの死亡登録検証」の講義では、模擬ケースを提示しながら、様々な職種がそれぞれの情報を持ちより、その情報を統合して議論を行う、より実践的なグループワークを行い、概ね好評を得た。

この講習会、全体についての受講者の講評としては、8割以上が「わかりやすい内容だった」「今後活用できそう」との意見をいただいた。なお、今後の課題としては、「小児死亡時の対応において、特に司法関係で地域差が大きい」などの意見が寄せられた。

来年度以降は、CDR を実現するための具体的な方法も含めて講習会を行っていきたい。

仙田昌義
子どもの死亡登録・検証委員会